

Makuhari's Memory

講師の先生方と仲間から刺激を受けた5日間

研修で一緒になった他自治体の職員が語ったこの言葉が、私の心に深く響きました。DXとは、デジタルツールを導入することではありません。人と人、地域と行政、過去と未来、様々な「アナログ」な要素を紡ぎ、新たな価値を生み出す糸であると私は理解しました。

今回の研修では、DX推進のための様々な考え方を数多く学びました。しかし、その根底には常に「人」の存在がありました。デジタルツールは、あくまで人と人とのコミュニケーションを円滑にし、アイデアや知識を共有するための手段にすぎないということです。

重要なのは、ツールを使いこなす「人」の意識改革です。DX推進は、一部の専門家やリーダーだけで成し遂げられるものではありません。職員や住民の一人ひとりが、問題に対して理解を深め、積極的に解決しようとする意識を持つことが不可欠だと感じました。

同時に、DX推進は、地域社会の課題

解決という明確な目的意識を持って進めるべきです。効率化やコスト削減だけを追求するのではなく、住民の生活の質向上、地域経済の活性化など、具体的な目標を設定し、そこから逆算して必要なツールやシステムを導入していく必要があるということです。

代表幹事として、今回の研修で得た知識や経験を活かし、地域社会に貢献できる施策を立案できる人材になりたいと思いました。職員や住民の声を丁寧に聞き取り、それぞれのニーズに合った仕組みに変革していく。そして、DXを「人と人とのつながりを紡ぐ新たな糸」として捉え、地域社会全体の活性化に貢献していきたいと思います。



内田 智之

埼玉県ふじみ野市
総合政策部情報・統計課デジタル推進係長
〈受講研修科目〉
行政のデジタル化の推進～業務担当部局の業務改革（DX）～
第39期第1組（令和7年度）

現場を見つめ直し、仲間に出会い、前向きになれた5日間

令和8年1月に市町村アカデミーで開催された「児童虐待防止対策」研修を受講しました。私は日頃から、虐待防止対策は事後対応だけでなく未然に防止することが重要だと考えており、この研修の内容は自分の問題意識にとっても合うものでした。日々の業務では目の前の対応に追われがちですが、この研修では制度や法律、援助やアセスメントについて学ぶとともに、「本当

に子どもの命を守れる体制になっているか」という問いを何度も投げかけられ、自身の業務を振り返る機会となりました。

講義では、市町村の役割の大きさや多機関連携の重要性を改めて実感しました。特に、児童福祉法第25条の3では、要保護児童対策地域協議会が関係機関に資料や情報の提供を求めることができると定められてい

Makuhari's Memory

ることを学び、法律の知識を持ち、それを現場で生かすことの大切さを感じました。死亡事例の検討では、医療機関への照会が断られた後、「法律の趣旨を踏まえて調査の目的を伝えていれば情報提供は可能だった」との振り返りが紹介され、法律の理解が

子どもの安全に直結することを実感しました。

また、課題演習や受講生同士の交流を通して、全国で同じ思いを持ちながら子ども支援に取り組む仲間がいることを知り、大きな支えを得たように感じまし

た。研修で得た学びとつながりを力に、これからの業務にも前向きな気持ちで取り組んでいきたいと思いません。



小林 一郎

兵庫県尼崎市
こども青少年局子どもの育ち支援センター北部こども家庭支援担当事務員
〈受講研修科目〉
児童虐待防止対策
第39期第1組（令和7年度）

また参加したい、とても楽しく学びのある5日間でした!

令和8年1月26日（月）～30日（金）の期間、千葉県千葉市の市町村アカデミーにて「文化芸術の活用による地域社会の活力の創造」研修を受講しました。

講義内容はサントリー地域文化賞の成功事例を、短い動画で次々紹介する視覚的に分かりやすい内容でしたり、熊本県津奈木町や兵庫県豊岡市など、人口規模に頼らない自治体の成功事例とその手法の紹介、東京都渋谷区のBunkamuraなど、大都市地域の文化芸術活動の取組、また、全ての自治体に共通する人口減少対策を踏まえた文化芸術活動の活用手法の紹介など、講義内容がバランスよく構成されていました。

研修担当の前田先生と鈴木先生が時間をかけ、全国各地から講師の先生方を選定したとのことで、5日間と限られた日程で、多くを学ぶことができ、前田先生、鈴木先生、講師の先生方に深く感謝致します。

また、研修後は、夜間ホールにて全国各地の研修生と交流を行い、体育館でバレーボールなどを楽しんだのはいい思い

出です。

また今回、全体のまとめ役として代表幹事に任命され、当初務まるか不安でしたが、皆さま協力的で、無事最終日まで務めることができ貴重な体験ができました。

市町村アカデミー研修を終え、研修3日目の小島先生の講義で「担当外の業務は肥やしになる。知識があればある方がいい。他の部署に異動した際に役立つ」と仰っていました。

本研修で得た知識や考え方も、今の部署や他部署に異動した際にも必ず役に立つと思います。今後も機会がありましたら、市町村アカデミーに参加したいと思います。5日間ありがとうございました。



中島 建

沖縄県沖縄市
商工振興課主任主事
〈受講研修科目〉
文化芸術の活用による地域社会の活力の創造
第39期第1組（令和7年度）